

学校運営協議会 議事録

校名	府立千里青雲高等学校
校長名	森口 愛太郎

開催日時	令和 7年 2月 5日(水) 15:40 ～ 16:55
開催場所	府立千里青雲高等学校 1号館2階 校長室
出席者(委員)	会長 委員3名
出席者(学校)	校長 教頭 首席2名 進路指導部長 生徒指導部長 保健部長
傍聴者	
協議資料	・学校運営協議会の運営に関する要綱の改定について ・16期生進路状況 ・遅刻件数 ・保健部報告 ・令和6年度学校評価及び令和7年度学校経営計画(案) ・学校教育自己診断結果
備考	

議題等(次第順)
(1) 校長挨拶 (2) 会長挨拶 (3) 学校現状報告 ア. 学校運営協議会への意見書の提出 (令和6年 11 月 20 日より令和7年2月4日まで なし) イ. 教頭 ウ. 進路指導部 エ. 生徒指導部 オ. 保健部 カ. 校長 (4) 意見交換 (5) 校長謝辞 (6) 諸連絡

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○教頭より 学校運営協議会の運営に関する要綱の改定

教育委員会より改定の通知があり、会議の開催、参加について、以前まで指定されていた条件をなくし、必要に応じてオンライン開催が可能となった。

それに伴って本校の要綱についても文言を変更することとする。

○進路指導部より 16期生進路報告

先日行われた共通テスト出願は30名だった。

夏休みには大勉強会を東ウイングホールで5日間、勉強合宿を京都で2泊3日、3年生を中心に実施した。

1, 2年生については講習を実施し、意欲的に参加していた。

冬休みには大勉強会を地域交流室で3日間、午後8時まで実施した。

12月末時点で142名が進路決定。残りの89名が一般入試に向かっている。

報道でもあった年内入試の実施については関西では慣例的に行われており、次年度以降はまだわからないが、注視しているところである。

各学年の取り組み

・1年生

11月7日 分野別進路ガイダンス

1月16日 進路講演会

1月18日 校内模試

・2年生

1月16日 進路講演会

2月 5日 分野別進路ガイダンス

2月 8日 校内模試

来年度も保護者に向けての進路説明会は例年通り実施予定。

○生徒指導部より 生徒指導状況報告

遅刻件数については1000件以下を目標としているが、1月末現在で1400件を超えてしまっている。

ただ、近隣校と比べると100人当たりの遅刻数としては少ない数である。

遅刻はもちろん、欠席も増えつつあるので、指導していきたい。

今年度の主な取り組み

制服販売(アフターサービス)

月1回程度、商品の学校での受け渡し、修理の対応などを行ってもらっている。

豊中警察署との連携

自転車に関する道路交通法の改正にともなってルールの確認など、通学に関するマナーへの指導も行った。

来年度には自転車の安全講習をコロナ禍以前のように復活させる予定である。

年明けの全校集会において闇バイトについての注意喚起を実施した。

生徒指導マニュアルの見直し

1月より休業日における部活動着での登下校を実施している。夏休みからの試行期間を経て、本格実施に至った。

来年度より遅刻指導に関して、内容を変更して実施。

○保健部より 保健関係報告

環境管理(清掃)、安全管理 については課題もあるが大事な部分なので、次年度以降も重点的に取り組んでいきたい。

○校長より

令和6年度学校評価及び令和7年度学校経営計画(案)

先日実施した学校教育自己診断の結果を元に自己評価欄に記載。昨年と比較してポイントの増減に応じて、○、×をつけている。

来年度の取り組みについては今年度と大きく変えたところはない。今年度うまくいかなかったところを削除するのではなく、振り返ってより具体的な取り組みなど、内容を進めていけたらと考えている。

学校教育自己診断 結果

・生徒

昨年度に比べて全般的に肯定評価が上昇

授業についても満足度が上昇した

・保護者

保護者も全般的に高い肯定回答を得た。HP の閲覧 が減少しているが SNS 等も含めて情報を発信していきたい。

・学校生活

生徒・保護者ともに満足度が高いので、引き続き充実を図っていきたい。

学習活動の項目が高いのは教職員の日々の取り組みの成果であり、1人1台端末を活用した授業についてもポイントが高い。

・キャリア教育

担任、ガイダンス室(進路指導部)が常に連携を取っており、早い時期から進路について情報提供ができている。

・生徒指導

生徒指導が厳しいという声も聞かれるが、一方でしっかりと指導してくれているという声もある。

時間を守る、挨拶をするといった当たり前のことを当たり前にできるように引き続き指導していきたい。

・人権

共生推進教室があることもあり、人権についての意識を生徒、保護者ともにしっかりと持てている。

・情報提供

保護者もいろいろな情報を求めているので、様々な情報発信をしていきたい。

質疑応答・意見交換

○地域と学校をつなぐ中で、箕面子ども食堂をしているが、高校生がボランティアに来てくれる。その目的の中に探究的、体験的な学習の経験をさせたいとのこと。

教員の付き添いなど課題はあるが、地域と学校がつながるために解決をしなければならない。

⇒地域の行事はたくさんあるが、紹介する中で興味がある生徒は参加している。もちろん付き添い教員の面では課題もあるが、強制することはできないが、生徒に紹介することは可能である。

地域の行事はたくさんあるが、声をかけていただいてスケジュールが合えば参加はしている。

○生徒指導が厳しいという意見があったとのことだが、どのような意見があったのか。

⇒例えばスカート丈など服装指導、学校行事におけるルールが他校に比べると厳しいと言われている。

避難訓練に課題があるというのはどのような課題があるのか。

⇒教室からグラウンドへ素早く移動すること、緊急放送は廊下にしか聞こえないため、設備の関係上仕方がないことを生徒も教職員も知っておくために実施している。

いかにリアルな状況の下で訓練できるかも課題である。また、教室前にロッカーがあるが、ロッカー内の貴重品を持って避難できるかどうかなど、有事の際に適切に避難できるかどうかは課題である。

遅刻に関して、「朝活」としてクラス対抗で出席率などを加点方式で表彰などしていくと生徒にとっても動機付けとなりモチベーションが上がるのではないかな。

⇒体調面などに不安を抱えている生徒には配慮が必要である。

○学校教育自己診断の結果について

「信頼できる友達がいる」、「いじめへの対応」の項目について肯定回答が多いのは大きな成果である。

「自分の考えをまとめる、発表するといった機会がある」「興味・関心、適性・進路希望に応じた選択科目が多い」の項目について生徒の満足度も十分な成果だと捉えられる。

学校評価についても×の項目があるが、決して肯定率としては悪くない。

自己評価の合格ラインをどう設定するかによって変わってくるものであるもので、成果は十分に上がっていると感じる。

○授業外での家庭学習1時間は少ないのではと思うので、何か仕掛けがあればいいと思う。

千里青雲の頑張りや中学生や保護者に対して伝わっていくとより良いのではないかな。

保護者の学校教育自己診断への回答数がやや少ないのが気になる。回答するということは教育活動に興味を持つということであるので、もう少し増えてほしい。

⇒教職員は本当によくやってくれているので、それが外部に伝わるように具体的に見えるものが必要。説明会などで発信しているがうまく伝わっていないのがもどかしいところである。

○本当に良い学校だと思うが、特色があるかと言われると、やや弱いように感じる。何か尖ったものがあればそれを求めて中学生も志望してくれるだろうし、また違ってくると思うので、発信して欲しい。

次回の会議日程

日時

令和7年 月 日()

会場

府立千里青雲高等学校 1号館2階 校長室